

D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リカルボン錠 1mg	劇薬
(英名)	RECALBON	
(規格・含有量)	1mg/錠・ミドロン酸水和物として1mg/錠	
(一般名)	ミドロン酸水和物	
(メーカー名)	小野薬品工業	
【薬価収載日】	2009年3月	
【薬価】	135.50/錠	
【薬効コード】	873999	
【薬効分類名】	骨粗鬆症治療剤 ビスホスホネート製剤	
効能・効果	骨粗鬆症	
用法・用量	通常、成人にはミドロン酸水和物として1mgを1日1回、起床時に十分量(約180mL)の水(又はぬるま湯)とともに経口投与する。なお、服用後少なくとも30分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。	
禁忌	(1)食道狭窄又はアカラシア等の食道通過を遅延させる障害のある患者 (2)服用時に上体を30分以上起こしていることのできない患者 (3)本剤の成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 (4)低カルシウム血症の患者 (5)妊婦又は妊婦している可能性のある婦人	
相互作用	本剤の吸収阻害 水以外の飲料(食物特に牛乳や乳製品のような高カルシウム含有食物)、多価陽イオン(カルシウム、鉄、マグネシウム、アルミニウム等)含有製剤(ミネラル入りビタミン剤、制酸剤など)	
副作用	重大な副作用 上部消化器障害・低カルシウム血症・肝機能障害、黄疸・顎骨壊死・顎骨骨髓炎 その他の副作用 消化器(胃・腹部不快感、腹痛、胃炎)、筋・骨格系(血中カルシウム減少)	

(薬品名)	リフレックス錠 15mg	劇薬	市販直後調査 平成21年9月～平成22年3月
(英名)	REFLEX TABLETS		
(規格・含有量)	15mg/錠・ミルタザピンとして15mg/錠		
(一般名)	ミルタザピン		
(メーカー名)	明治製菓		
【薬価収載日】	2009年9月		
【薬価】	169.30/錠		
【薬効コード】	871179		
【薬効分類名】	ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ薬		
効能・効果	うつ病・うつ状態		
用法・用量	通常、成人にはミルタザピンとして1日15mgを初期用量とし、15～30mgを1日1回就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状に応じ1日45mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として15mgずつ行うこと。		
禁忌	(1)本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者。 (2)MAO阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者		
相互作用	禁忌 MAO阻害剤(セレギリン塩酸塩(エフピー)) 本剤増強 ①CYP3A4阻害剤(HIVプロテアーゼ阻害剤、アゾール系抗真菌薬(ケトコナゾール等)、エリスロマイシン等)②シメチジン 本剤作用減弱 CYP3A4誘導剤(カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン等) 他剤作用増強 ①鎮静剤(ベンゾジアゼピン系薬剤等)②アルコール(飲酒)③セロトニン作用薬(選択的セロトニン再取り込み阻		

	害剤、L-トリプトファン含有製剤、トリプタン系薬剤、トラマドール、リネゾリド、炭酸リチウム等)セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品④ワルファリン
副作用	重大な副作用 セロトニン症候群 無顆粒球症、好中球減少症 痙攣 肝機能障害、黄疸 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) その他の副作用 体重増加、倦怠感傾眠、浮動性めまい、頭痛便秘、口渇 AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇、 γ -GTP 上昇

削除医薬品通知

●11月2日より

・ランツジールコーワ錠 30mg	…削除
・エミレース細粒 2%	…削除
・フェルピテン錠 12.5mg	…在庫消尽後削除
・点滴静注用アンコーマ 20%	…在庫消尽後削除

適応追加通知

パキシル錠 10mg	社会不安障害 通常、成人には1日1回夕食後、パロキセチンとして20mgを経口投与する。投与は1回10mgより開始し、原則として1週ごとに10mg/日ずつ増量する。なお、症状により1日40mgを超えない範囲で適宜増減する。
インジゴカルミン注 20mg	次の疾患におけるセンチネルリンパ節の同定(乳がん・悪性黒色種)の疾患におけるセンチネルリンパ節の同定 乳癌のセンチネルリンパ節の同定においては、インジゴカルミンとして通常20mg(5mL)以下を悪性腫瘍近傍又は乳輪部の皮下に適宜分割して投与する。 悪性黒色腫のセンチネルリンパ節の同定においては、インジゴカルミンとして通常4~12mg(1~3mL)を悪性腫瘍近傍の皮内数箇所に適宜分割して投与する。
ジアグノグリーン注射用 25mg	次の疾患におけるセンチネルリンパ節の同定(乳がん・悪性黒色種) 乳癌のセンチネルリンパ節の同定においては、インドシアニングリーンとして25mgを5mLの注射用水で溶解し、通常5mL以下を悪性腫瘍近傍又は乳輪部の皮下に適宜分割して投与する。 悪性黒色腫のセンチネルリンパ節の同定においては、インドシアニングリーンとして25mgを5mLの注射用水で溶解し、通常1mLを悪性腫瘍近傍の皮内数箇所に適宜分割して投与する。
フェロン注射用 100万単位 300万単位	リバビリンとの併用による以下のいずれかのC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善 (1)血中HCV-RNA量が高値の患者 (2)インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者
プログラフ Cap 0.5mg・1mg 顆粒 0.2mg・1mg	重症筋無力症
レベトール Cap 200mg	インターフェロン アルファ-2b(遺伝子組換え)、ペグインターフェロン アルファ-2b(遺伝子組換え)又は インターフェロン ベータ との併用による次のいずれかのC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善 (1)血中HCV RNA量が高値の患者 (2)インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者

ベイスン錠 0.2mg OD 錠 0.2mg	<p>耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制(ただし、食事療法・運動療法を十分に行っても改善されない場合に限る)</p> <p>耐糖能異常(空腹時血糖が¹⁾126mg/dL未滿かつ75g経口ブドウ糖負荷試験の血糖2時間値が²⁾140~199mg/dL)と判断され、糖尿病発症抑制の基本である食事療法・運動療法を3~6カ月間行っても改善されず、かつ高血圧、脂質異常症(高トリグリセリド血症、低HDLコレステロール血症等)、肥満(Body Mass Index: BMI 25kg/m²以上)、2親等以内の糖尿病家族歴のいずれかを有する場合に限定すること。</p>
---------------------------	--

医薬品名称変更通知

医薬品	従来医薬品
・インジゴカルミン注 20mg「第一三共」 (投与経路追加に伴う販売名変更)	インジゴカルミン <u>静注</u> 20mg「第一三共」